

サクソフォン

本堂 誠

Makoto Hondo, Saxophone



©井村重人

Bariton "ism" 2

Program

コダーイ | チェロ・ソナチネ

Kodály | Cello Sonatina

ヴィラ＝ロボス | チェロとピアノのための小品 より

Villa-Lobos | Pieces for Cello and Piano

ブルッフ | コル・ニドライ Op.47

Bruch | Kol Nidrei Op.47

バルトーク | ルーマニア民俗舞曲 Sz.56

Bartók | Romanian Folk Dances Sz.56

ヒナステラ | パンペアーナ 第2番 Op.21

Ginastera | Pampeana No.2 Op.21

グリーグ | チェロ・ソナタ イ短調 Op.36

Grieg | Sonata for Cello and Piano in A Minor, Op. 36

めぐろパーシモンホール

未来 vol.28
の音
シリーズ

バリトン “主義” = ism

民族 “主義” = ism

バリトン・サクソという楽器の魅力
を最大限に引き出すテクニックと表現力
を兼ね備えた本堂誠の“バリトニズム”
。作曲家が自身のルーツを音楽によっ
て表現した“ナショナリズム”
。サクソ界の逸材が表現する、二つの主
義の出会いから生まれる音楽とは…。

2018

12/15 土 15:00 開演
(14:30 開場)

めぐろパーシモンホール 小ホール

全席指定 ¥2,500

めぐろパーシモンホールチケットセンター
電話・窓口 03-5701-2904 (10:00-19:00)
WEB <http://www.persimmon.or.jp> (24H)
イープラス <http://eplus.jp/>

チケット発売中

主催 | 公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
めぐろパーシモンホール
東京都目黒区八雲 1-1-1 TEL. 03-5701-2913
東急東横線「都立大学駅」より徒歩7分



©Sumiyo Ida

ピアノ

深見まどか

Madoka Fukami, Piano

未来の音

シリーズ

これからの時代を響かせる、
若き演奏家たちの「今」を聴く。

vol.28

本堂 誠 〈サクソフォン〉

Makoto Hondo, Saxophone

"★バリトピア" Baritone + Utopia (理想郷) プロジェクト第2弾！！

バリトン・サクソへの熱い想いととも、この楽器の表現の可能性を追求し、皆様にお届けします。(本堂誠)

2017年の日本管打楽器コンクール第1位の受賞歴を誇り、期待の集まる中で本格始動した本堂誠の熱い想いがいっぱい詰まった本公演。バリトン・サクソを世の中に浸透させていくための活動にしたい、という自身の願いからこの企画が立ち上がり、今回、めぐろパーシモンホール「未来の音シリーズ」として第2弾公演「Bariton "ism" 2」が実現しました。バリトン・サクソという楽器へのイメージが更新されるに違いない、意欲にあふれた多彩なプログラムを体感してください。

Profile

本堂 誠 〈サクソフォン〉 Makoto Hondo, Saxophone

千葉県出身。2012年、東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業し同大学院に入学。同年11月に渡仏し、パリ国立高等音楽院第一課程に入学。サクソフォン科、並びに室内楽科を最優秀の成績で修了。在学中、アムステルダム音楽院へ短期交換留学し研鑽を積む。

ソリストとして2013年第7回スロヴェニア国際コンクール、2014年アドルフ・サクソ国際コンクール(仏)ソリスト部門、2015年第2回アンドラ国際サクソフォンコンクールの3つの国際コンクールで優勝。2017年第34回日本管打楽器コンクール第1位、および内閣総理大臣賞、特別大賞、聴衆賞を受賞。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演。

室内楽においては、2017年第9回大阪国際室内楽コンクール管楽部門にニオベ・サクソフォン四重奏団のメンバーとして出場し、日本人として初めてとなる第2位を受賞した。

2016年秋より、ブルーオーラサクソフォン・カルテットのバリトン奏者。

これまでにサクソフォンを福岡和男、池上政人、原博巳、クロード・ドゥランゲル、クリストフ・ボワ、アルノ・ボンカンプの各氏に、室内楽を中村均一、貝沼拓実、ヘスン・カン、棚田文紀、イエンス・マクマナマ、ラズロ・ハダディの各氏に師事。

2015年度から2017年度まで、ヤマハ音楽振興会留学奨学生、フランスにおいてロールデュラン財団、メイヤー財団より助成を受ける。



©井村重人

深見まどか 〈ピアノ〉 Madoka Fukami, Piano

京都市生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部を経て渡仏。パリ国立高等音楽院修士課程において3つの科(ピアノ、古楽、室内楽)全てを審査員満場一致の首席で卒業。2015年ロネティポー国際コンクール5位並びに最優秀ラヴェル作品演奏賞、2017年ブゾーニ国際ピアノコンクールファイナリスト並びに最優秀現代曲演奏賞を受賞。

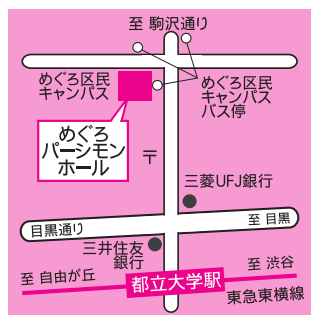
日本ではフィガロジャポン紙のパリ特集で若手演奏家を代表して紹介され、他にも月刊ピアノ、モーストリー・クラシックなどの音楽雑誌で紹介されている。来シーズンはドイツにて名門アンサンブル・モデルンとのコンチェルトデビューを予定している。華麗な技巧と音色でフランスを中心にヨーロッパ各国から高い評価を得る期待の若手ピアニスト。



© Sumiyo Ida

Access

東京都目黒区八雲1-1-1
東急東横線「都立大学駅」より徒歩7分
東急バス「めぐろ区民キャンパス」バス停すぐ



*駐車場の台数が少ないため、公共交通機関をご利用ください。

未来の音シリーズ vol.27

カルテット・アマービレ

2018年9月30日(日) 15:00 開演

ドビュッシー | 弦楽四重奏曲 ト短調
ラヴェル | 弦楽四重奏曲 ヘ長調 ほか



@meguropersimmonhall



@meguropersimmon



- ・未就学児の入場はご遠慮ください。
- ・一度お求めいただいたチケットは公演中止の場合以外はキャンセルできません。
- ・やむを得ぬ事情により出演者・内容等を変更する場合がありますので、ご了承ください。